

# ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

## 第2四半期 第62期 報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



証券コード:7970



代表取締役社長  
社長執行役員  
小野 義昭

**確かな技術で社会に欠かせない存在に**

**社会に求められる製品にさらなる価値を加え、持続可能な社会の実現に貢献します。**

### ■ 当中間期の事業概況について

---

**半導体業界や電子部品業界の需要の拡大が続き、自動車関連分野の需要も回復したため、全体としては前年同期比で増収増益となりました。**

半導体関連容器は、半導体業界の旺盛な需要を背景に300mmウエハー用出荷容器などの出荷が好調に推移し、売上げを大幅に伸ばしました。入力デバイスも、主力の自動車向けキースイッチの出荷が回復し、薄型ノートパソコン用タッチパッドの出荷も好調に推移したことから、全体として売上げを大幅に伸ばしました。また塩ビ関連製品では建設資材は国内需要の低迷により売上げは低調でしたが、食品包装資材や自動車関連の素材系製品の需要が回復し、前年の収益を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は437億19百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益は45億82百万円（前年同期比69.4%増）、経常利益は47億4百万円（前年同期比60.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億89百万円（前年同期比62.2%増）となりました。

## ■ 中長期の事業方針について

経営基盤のさらなる強化を推し進め、当社が培ってきた技術力・製品・人材といったすべての資源を投入し、持続可能な社会の実現というグローバル企業としての責務を果たしてまいります。

持続的な成長を続けるために、自動車用入力デバイスや半導体関連容器といった主力事業はもちろん、素材系製品などの成長が期待できる事業でも、設備投資などによる効率の良い生産体制の構築を進めてまいります。また、研究開発は当社が持続的な発展を続けるための原動力であり、新しい製品や技術の開発に対しては、積極的な投資を続けてまいります。当社はCSRを経営の基本方針とし、ステークホルダーの期待に応えることを念頭に、事業活動を通じてESG対応やSDGs達成の貢献を目指した活動を展開し、企業価値の向上を図ってまいります。

## ■ 株主配当について

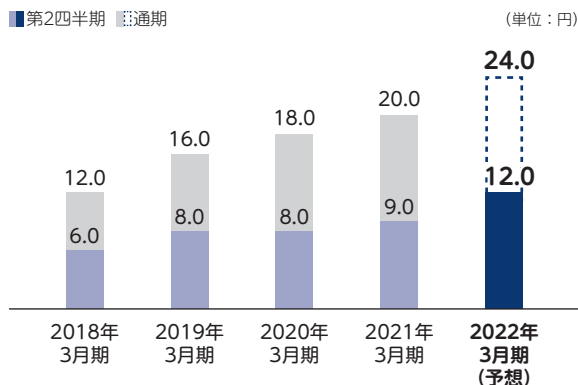
年間配当予想は前期より4円増配の1株当たり24円とさせていただきます。

株主の皆様への利益還元については、基本的に安定的な配当を継続する方針です。短期的な業績だけに連動させるのではなく、当社の中期的な成長という視点も踏まえた還元而努力してまいります。今後の経営環境には不透明な要素もありますが、「営業」「開発」「生産」の三位一体で、業績と企業価値のさらなる向上に取り組みます。株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りたく存じます。

### 2022年3月期業績予想

売上高	86,000百万円 (前期比11.8%増)
営業利益	8,800百万円 (前期比21.9%増)
経常利益	9,000百万円 (前期比28.2%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,400百万円 (前期比41.1%増)

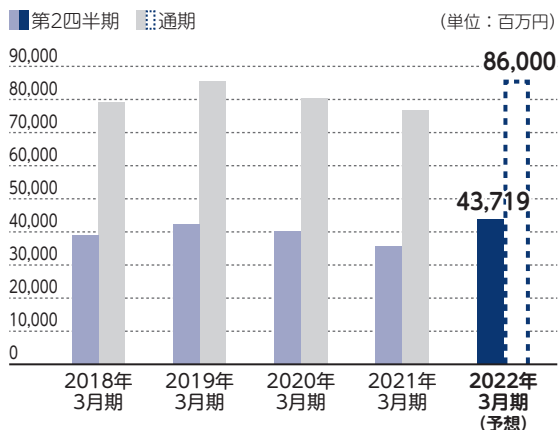
### 配当金の推移



## 連結業績ハイライト

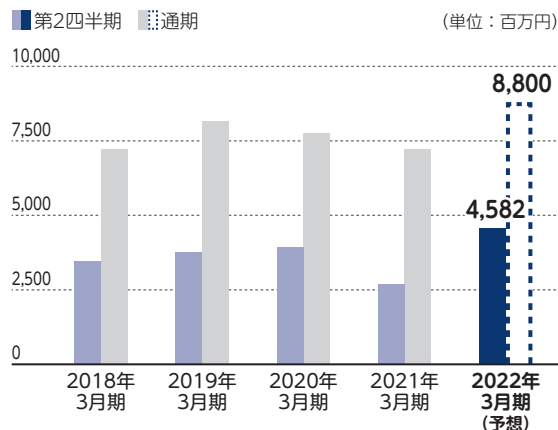
### 売上高

43,719百万円 



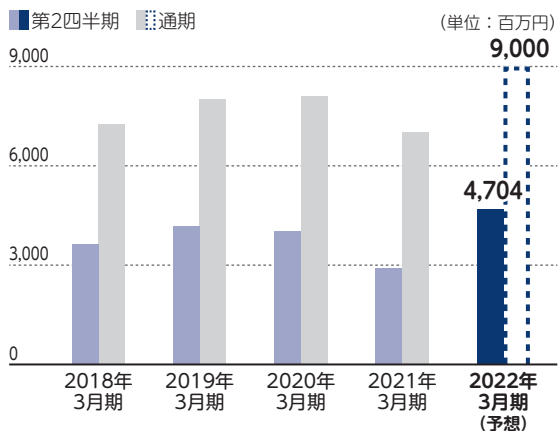
### 営業利益

4,582百万円 



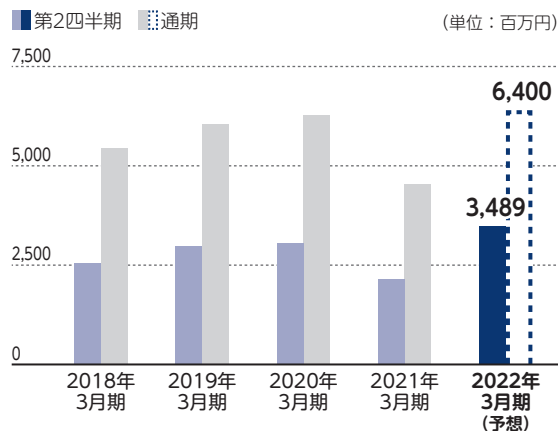
### 経常利益

4,704百万円 



### 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

3,489百万円 



業績についての詳細はこちらもご覧ください

<https://www.shinpoly.co.jp/ja/ir/finance/highlight.html>



## 事業の概況

### 電子デバイス事業

売上高

**11,261**百万円  
(前年同期比42.1%増)

自動車業界の需要回復により、自動車関連入力デバイスを中心に出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を大幅に上回りました。

この結果、当事業の売上高は112億61百万円（前年同期比42.1%増）、営業利益は6億91百万円（前年同期は32百万円の営業損失）となりました。



売上高構成比  
**25.8%**

### 精密成形品事業

売上高

**19,525**百万円  
(前年同期比17.1%増)

半導体関連容器やキャリアテープ関連製品の順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は195億25百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は33億81百万円（前年同期比32.4%増）となりました。



売上高構成比  
**44.7%**

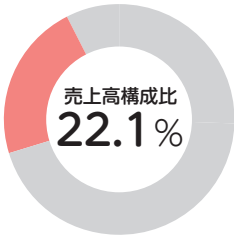
### 住環境・生活資材事業

売上高

**9,683**百万円  
(前年同期比14.7%増)

市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努め、新規事業製品の拡販を推し進め、食品包装資材、自動車関連の素材系製品の需要回復を受けて、全体として売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は96億83百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は3億63百万円（前年同期比306.0%増）となりました。



売上高構成比  
**22.1%**

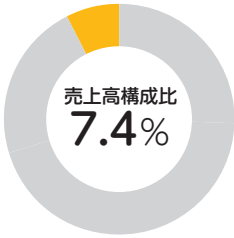
### その他

売上高

**3,248**百万円  
(前年同期比18.2%増)

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が回復し、全体として、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他の売上高は32億48百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は1億45百万円（前年同期比55.4%増）となりました。



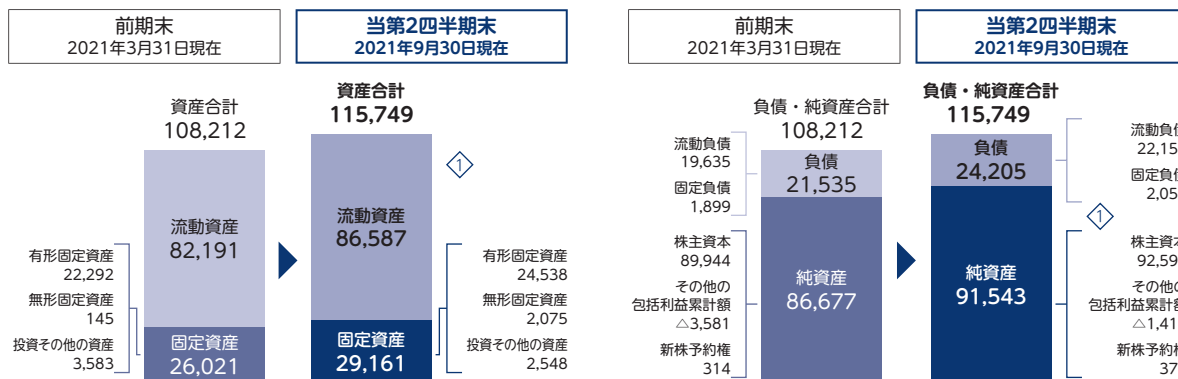
売上高構成比  
**7.4%**

# 連結財務諸表の概況

- ◆ 総資産は、売上債権・たな卸資産・有形固定資産・無形固定資産が増加したことなどにより、前期末比で75億36百万円増加し、1,157億49百万円となりました。負債は仕入債務の増加などにより、前期末比で26億70百万円増加し、242億5百万円となりました。純資産は、円安により為替換算調整勘定が増加したほか、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比で48億66百万円増加し、915億43百万円となりました。
- ◆ 当期末の現金及び現金同等物の残高は前期末と比較して6億74百万円減少し、452億74百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フロー（以下CF）は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上のほか、仕入債務の増加などにより38億9百万円の収入、投資活動によるCFは、主に子会社株式の取得や設備投資により48億65百万円の支出、財務活動によるCFは、主に配当金の支払により9億28百万円の支出となりました。なお、フリー・キャッシュ・フローは10億55百万円の減少となりました。

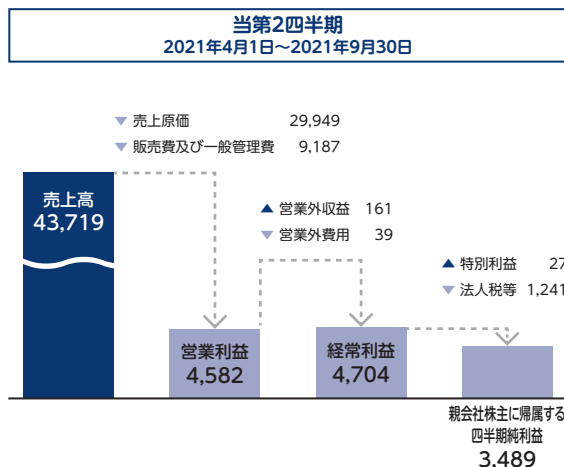
## 連結貸借対照表の概要

(百万円)



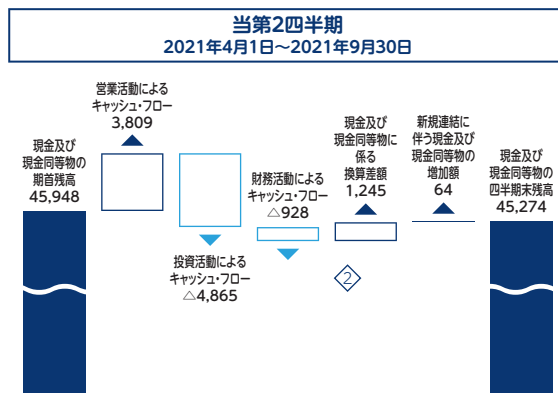
## 連結損益計算書の概要

(百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



## トピックス 1

### M&Aによりラップフィルムの製造・販売を行う（株）キッチンスタを子会社化

2021年8月2日付で、昭和電工マテリアルズ（株）の食品包装用ラップ事業を承継する新設会社である、（株）キッチンスタの株式のすべてを取得し、子会社化しました。塩ビ小巻ラップで高い販売シェア、「カラーラップ」や「抗菌ラップ」



などの付加価値を商品を生み出す開発力と顧客ニーズを的確に捉えた営業力が、同社の大きな強みです。同社との相乗効果により、業界内における競争力を高め、事業基盤をさらに強化してまいります。



## トピックス 2

### エコバディス社のサステナビリティ評価において、「シルバー」評価を獲得



エコバディス社は、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」を含む財務以外の幅広い分野について、第三者視点で包括的なCSR（企業の社会的責任）評価を行っています。「シルバー」評価は、エコバディスの評価を受けた全企業のうち、上位25%に入る企業が認定されるものです。

今後とも当社グループではCSR活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

最新版「アニュアルレビュー2021」、「サステナビリティレポート2021」を発行いたしました。当社ホームページでご覧いただけますので、以下のQRコード等をご利用ください。



QRコード



<https://www.shinpoly.co.jp/ja/ir/library/annual.html>



QRコード



<https://www.shinpoly.co.jp/ja/environment/report.html>



## 会社の概況 (2021年9月30日現在)

商号	信越ポリマー株式会社 (Shin-Etsu Polymer Co.,Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区神田須田町一丁目9番地
設立年月日	1960年9月15日
資本金	11,635,953,759円
従業員数	1,004名(連結5,095名)
事業所 支店・営業所	大阪支店、名古屋支店、福岡支店、 仙台営業所、広島営業所、札幌営業所
工場	東京工場、児玉工場(以上、埼玉県)、 南陽工場(山口県)、塩尻工場、 長野分工場(以上、長野県)、 糸魚川工場(新潟県)

株式の状況	
発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式総数	82,623,376株
株主数	9,077名

### 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7970

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

- アンケートのお問合せ  
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告( <a href="https://www.shinpoly.co.jp/">https://www.shinpoly.co.jp/</a> ) なお、やむを得ない事由によって、電子公告 によることができない場合には、日本経済新聞 に掲載して行います。

### 株式に関するお手続

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物 送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取方法 の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱 できませんのでご了承ください。
未払配当 金の支払	みずほ信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行	本店及び全国各支店 本店及び全国各支店
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お 問合せ先・各種手続お取 扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必要 があります。

### 単元未満株式買増・買取のご案内

当社では、単元未満株式(1株から99株まで)の買増制度・買取制度を導入しておりますので、ご利用ください。  
お手続の詳細は、上記記載のお取扱店にお問い合わせください。

## 信越ポリマー株式会社

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-9

電話 (03) 5289-3712

ホームページアドレス <https://www.shinpoly.co.jp/>

